**再生医療等提供計画に記載された再生医療等と同種又は類似の再生医療等に関する国内外の実施状況を記載した書類**

**※ 以下、青字で示した文は例であるため、各治療および施設において適切な内容をもって記載すること。**

再生医療等の名称：歯科インプラント治療における自家多血小板血漿 (自家PRP) 注入

特定細胞加工物の名称：　自家多血小板血漿 (自家PRP)

**概要**

血小板濃縮材料3種 (PRP、PRG、PRF) のユーザーは世界的な広がりを見せている。さらに、アメリカではスポーツ医学の分野における血小板濃縮材料への関心は年を追うごとに増加している。国内でも、PRPを用いた医療は、インプラント治療をはじめとする歯科領域、形成外科領域、整形外科領域の自由診療で長く実施されてきた経緯がある。

*※例示であるので、申請する内容に合致するものを申請者自身で検討し記載する必要がある。*

1. 川瀬知之、渡辺泰典、奥田一博. 多血小板血漿とそこから派生した血小板濃縮材料：再生医療に関与する歯科医が押さえておきたいポイント. 日本歯周病学会誌 59 (2) :68-76; 2017. (総説)

血小板濃縮材料3種 (PRP、PRG、PRF) のユーザーは世界的な広がりを見せている。血小板濃縮材料に関する論文数の継年的推移では、PRP の世界的な広がりと前後した時期である2004年に最初の伸びがあり、PRFの爆発的臨床応用ブームのあった2013年前後に2 度目の伸びを示している。また、アメリカではスポーツ医学領域において、たとえば筋肉や腱の再生にPRPの適用が非常に効果的であり、侵襲的な手術を回避できるという観点からも有望な治療法になってきている。

2) ○○○○、○○○○、･････ *(著者名、雑誌名、巻号、ページ、発行年等を記載する)*

*(論文等概要を記載する)*

3) ○○○○、○○○○、･････ *(著者名、雑誌名、巻号、ページ、発行年等を記載する)*

*(論文等概要を記載する)*